

## 令和 7 年度食育イベントについて

イベント	伝統野菜「真菜」を使った雑煮の調理体験会
日時	令和 7 年 12 月 21 日（日）午前 10 時から正午まで
会場	アグリサポート事業振興施設
目的	若者世代が調理する機会の創出と日本文化の継承
主催	長久手市
協力	一般社団法人長久手アグサポ倶楽部 1 名 長久手食育推進委員 安達会長含め 2 名 名古屋学芸大学 3 名
広報	広報 12 月号掲載、HP 掲載、LINE 配信
事業実績	調理体験会 定員 10 組のうち 7 組参加（3 組欠席） 延べ参加人数 22 名（大人 12 名とこども 10 名） 売上 6,000 円（大人 1 人あたり 500 円徴収） 真菜の種子配布と持ち帰り用真菜の配給

アンケート集計結果 資料 3-1 参照

## 事業の成果

- ・「学校で育ててみる」や「家庭でも作ってみたい」等、自分たちで作ることによって、食について考えるきっかけづくりとなった。
- ・参加者アンケートでは、「クセもなく食べやすい」、「もちつきも行うことができ良かった」、「真菜を育てるのも楽しみ」等の感想をいただき、真菜の魅力を知ってもらう機会となった。

## 今後の課題

- ・アンケートの一部に「真菜と言われてもピンとこない」、「真菜の調理法がよく分からない」といった意見があり、まだまだ認知度については、浸透してきていないため、市の伝統野菜として PR を継続して行い、市民が関心を持ち地産地消に繋がるように取組を促進したい。
- ・みどりの推進課の食育活動として、食と農の距離がポイントとなるが、こうした食の問題を最も有効に解決できるのは、食材の生産と消費が直結している場である農産物直売所ではないかと考える。その農産物直売所で、伝統野菜を始めとした地元農産物の食べ方を提案し、消費者が実践しやすい内容でレシピの提供等を行い、地元野菜の認知度を上げれば、地域農業の活性化を促すことになる。